

## 東日本大震災四周年にあたって

2011年3月11日、東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から4年が経ちました。

この震災により犠牲となられたすべての方々にご冥福をお祈り申し上げ、被災された皆さまに改めてお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を祈念いたします。

日本スポーツ振興センター（JSC）では、これまでに、学校の管理下で被災し、亡くなられた児童生徒等の保護者の方に対する「東日本大震災特別弔慰金」の支給、スポーツ振興くじ助成による「Jリーグホームスタジアムの緊急復旧のための施設整備支援」、SPORTS JAPANアンバサダーからのメッセージの発信など、微力ではありますが様々な支援をしてまいりました。

そして現在、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、新国立競技場の建設が進められています。皆さまに長く愛された国立競技場は一旦幕を閉じました。国立競技場と聖火台は、1964年東京オリンピックとともに、戦後日本が復興したシンボルといえる存在でした。聖火台は、宮城県石巻市に貸与され、震災からの復興のシンボルとして設置されます。

新国立競技場は日本の新技術のショーケースとするべく検討を重ねていただいております。日本が着実に復興へ向かう推進力の一つとなるわが国の新たな成長戦略に則った技術やイノベーションを、世界に向け発信してまいりたいと考えております。

これからもわが国スポーツ界唯一の独立行政法人であるJSCの特性を生かした支援を今後も続けていくことにより、復興の一助となれば幸いです。

JSCは、「未来を育てよう、スポーツの力で。」を合言葉に、スポーツの振興、児童生徒等の健康の保持増進を図り、より広く社会、地域に貢献し「公正さと規律を重んじる社会」、「深い絆で結ばれた一体感や活力がある地域社会」、「国際的に信頼され、尊敬される国」の実現に向け、役職員一同努力してまいります。

独立行政法人日本スポーツ振興センター  
理事長 河野 一郎

**JAPAN SPORT**  
COUNCIL